

2024年(令和6年)5月15日

## 校外学習(郷土の庭園鑑賞と剪定実習)

(松北村正隆先生)

清瀧寺徳源院に到着するや否や、まず目に飛び込んできたのが、この素晴らしい新緑の庭園でした。ほんの一時見とれていたら、”朝礼”の声で我に返りました。



今回は、郷土の庭園鑑賞と剪定実習というテーマで、サポート隊の先輩とともにこの庭園を選定するとなるとプレッシャー受けてしまいますが挑戦だ!!!



• 朝礼 北村先生の挨拶



• 事務局より連絡事項等

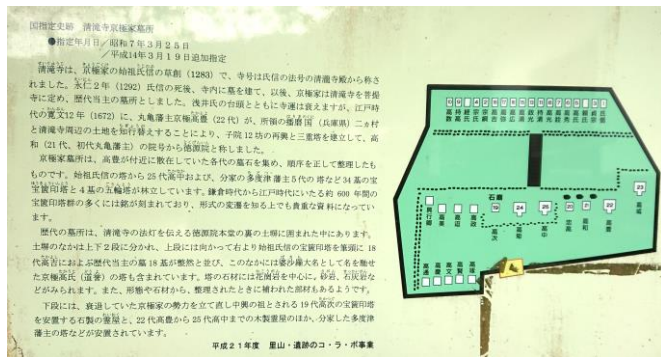


【清瀧寺徳源院】



・三重塔と樹齢 400 年の枝垂れ桜 何もかも見事だ

【清瀧寺徳源院】の概要・・・徳源院（とくげんいん）は、滋賀県米原市にある京極氏の菩提寺。寺号で清瀧寺（せいりゅうじ）とも呼ばれる。山号を靈通山と称する。宗派は天台宗。境内にある京極家墓所は国の史跡に指定されている。



明治維新まで大名として続いた京極氏の菩提寺で、弘安9年(1286)、京極氏の初代氏信が建立。境内には本堂、位牌殿、三重塔などが立ち、国指定史跡となっている京極家墓所には、京極氏歴代 34 基の宝篋印塔や墓石などが、整然と並んでいます。(ホームページより)





• 今日お世話になります、サポート隊の皆さん

👉 作業開始!!!







- 屋根を覆いかぶさるモミジの剪定



- 午前中の実習について、北村先生より講義を受ける。





この幽霊画は現在の長浜市大路町出身の画家「清水節堂」(1876-1951)が描いたもので幽霊画の世界でも傑作といわれています。



京極家は、浅井氏の台頭とともに一時期衰え、寺も荒れましたが、寛文12年(1672)高豊(たかとよ)が境内に三重塔(県の指定文化財)を建てて以来、勢力を取り戻しました。この時、付近に散在していた墓を一カ所に集めたといえます。



塔の大きさは様々で、京極家の栄枯盛衰を表しています。現在、国の史跡および県の史跡に指定されています。 <史跡>清滝寺京極家墓所



- 徳源院の山口光秀住職から講義を受ける  
滋賀県という小さな県に住んでいながら本当に「灯台下暗し」とはこのことだ。  
ここにも素晴らしい所が一杯あります。



【午後からの剪定実習】



- 北村先生の剪定手本



- 終礼の風景、先生から今日の総括を説明されました。



- 先生を囲み、サポート隊と 44 期生園芸学科の集合写真

【ご協力お願い致します】



心穏やかに この庭園を 見ていたら ふと思い出しました  
禅の言葉に「滝の水はなぜ落ちる 水は 器に従う 水は高きところより  
低きに流れる つまり 高き水は 土地という器に従い 低く消え落ちる  
水は無理をしない」と あります

自然のまま あるがままが 一番良いと言うことです  
そういう自然体で 時を過ごし 人生を 送れば  
きっと素晴らしいと思います。

暖冬だったけれども 正確に 季節は淡い若葉を 運んできてくれました

(T.O)